

## 2016 年度（対象年度：2015） 自己点検・評価シート 【大学全体の視点】

|      |       |
|------|-------|
| 基準 1 | 理念・目的 |
|------|-------|

## I. 自己点検・評価

## 1. 点検・評価項目等に基づく状況確認 《評定形式》

自己評価欄に「A：適切に実行している」「B：概ね実行している」「C：あまり実行していない」「D：実行していない」の4段階で記入してください。

| 項目<br>No. | 評価項目                                                   | 点検項目                                                    | 自己評価 |    |
|-----------|--------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------|----|
|           |                                                        |                                                         | 個別   | 総合 |
| 101       | 【大学全体の視点】<br>建学の精神は、適切に設定されていますか。                      | 【大学全体の視点】<br>①建学の精神は、本学が目指すべき方向性や育成する人間像を明らかにしていますか。    | A    | A  |
|           |                                                        | 【大学全体の視点】<br>②建学の精神は、教育、研究、社会貢献の面で具現化されていますか。【※どのように】   | A    |    |
| 102       | 【大学全体の視点】<br>建学の精神が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されていますか。 | 【大学全体の視点】<br>① 明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。                   | B    | A  |
|           |                                                        | 【大学全体の視点】<br>② 構成員（教職員および学生）に対し周知し、十分理解されていますか。【※どのように】 | A    |    |
|           |                                                        | 【大学全体の視点】<br>③ 社会に対し、公表していますか。【※どのように】                  | A    |    |
| 103       | 【大学全体の視点】<br>建学の精神の表現の適切性について、定期的に検証を行っていますか。          | 【大学全体の視点】<br>建学の精神の表現の適切性について、検証しましたか。【※どのように】          | A    | A  |

## 2. 現状説明 《記述形式》

対象年度における取り組みを、点検・評価項目の観点から、改善状況を含め総括してわかりやすく説明してください。  
点検項目欄【※どのように】と記載のある項目は、取り組み内容を具体的に、記述してください。

- 101
- ① 「建学の精神」を明文化し、本学が育成する人間像を明らかにしている。
- ② 教育面では、「学則第1条」に建学の精神である浄土真宗の精神に基づく教育・研究をおこなうこと、および「学則第2条2」各学部教育理念・目的に建学の精神に基づくことを明記している。研究・社会貢献面では、「龍谷大学研究活動に関する指針」の前文等に建学の精神の基づく理念によって研究を行うことを明記している。本学ホームページにおいては、HOME>大学紹介>情報公表・大学評価>情報公表（基礎データ）>学則・諸規程等に関する情報に、掲載している。また、社会貢献については、HOME>大学紹介>情報公表・大学評価>情報公表（基礎データ）>社会貢献・連携活動に関する情報に、掲載している。
- 102
- ① 龍谷大学研究活動に関する指針に2012年度以前の表現が残っており、現時点では改善されていない。事務的打合わせは終了しており、全学研究会議の開催を待っている状況である。
- ② 龍谷大学が浄土真宗本願寺派の宗門校であることを90%の学生が理解していた。しかし龍谷大学の「建学の精神」が浄土真宗の精神であることを理解しているのは全体で63%、瀬田の学生に限ると50%であった。「朝の勤行」や「花まつり」、「降誕会」などの認知度が30～37%程度であることを踏まえ、4年間を通して理解できるよう浸透を図っている段階である。英語版／中国版「建学の精神」の冊子は、文言の点検や精査が必要であり、2015年度末現在、編集が完了していない。2016年6月末を目処に発行を予定している。
- ③ 「建学の精神」は本学ホームページの次のところに掲載されている。HOME>大学紹介>龍谷大学について>建

|                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学の精神。また、同ページからリンク先の「宗教部」のページにおいて、具体的な取り組みを掲載している。</p> <p>「建学の精神」の冊子、ホームページ、学生手帳、出講手帳、月報などに「建学の精神」を明記し、教職員の就任時研修で「建学の精神」の研修をおこなっている。</p> |
| 103                                                                                                                                        |
| <p>2012年度に「建学の精神」を明文化し、現時点では、「建学の精神」の浸透を図っている段階であり、「表現の適切性」に関する結果は見いだせていない。なお、アンケートを実施することによって、「建学の精神」に関する意識や理解促進の効果もあったと考える。</p>          |
| <p>〔改善すべき点の確認〕 前回の点検・評価で、自ら「改善すべき点」と掲げた事項や、評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項があれば、この欄に箇条書きで記載してください。</p>                               |
| <p>「5長の基本方針」や「教育にかかる基本方針」等、一部の明示媒体で2012年度以前の表現が残っている。早急に改善されたい。【努力課題】</p>                                                                  |

### 3. 効果が上がっている点とその伸長方策 《箇条書き》

|                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|
| <p>現状説明を踏まえ、効果が上がっている事項（特色ある取り組みや成果創出など）とその伸長方策を記述してください。</p>     |
| <p>102②留学生等に建学の精神を周知するため、「建学の精神」冊子の英語版と中国語版を編集した。2016年度に配付する。</p> |

### 4. 改善すべき点とその改善方策 《箇条書き》

|                                          |
|------------------------------------------|
| <p>現状説明を踏まえ、改善すべき事項とその改善方策を記述してください。</p> |
|                                          |

### 5. 根拠資料 《リスト形式》

| 項目 No. | 根拠資料の名称         |
|--------|-----------------|
| 102②   | 宗教局学生によるアンケート結果 |

## II. 評価結果

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総評                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>建学の精神は、適切に設定されている。また、「建学の精神」が大学構成員に周知され、理解をうながすために留学生等を対象に英語版、中国語版を編集した取り組みは評価できる。</p> <p>2014年度の宗教委員会において、「建学の精神」の表現の適切性や「建学の精神」の普及・醸成について検証され「建学の精神」冊子の全面改定となった。2015年度配布の冊子は、その反映であり、冊子の配布を受けて「仏教の思想」受講学生を対象として「宗教局学生によるアンケート調査」が実施された。宗教委員会において、本調査結果を共有し、活用されることが期待される。なお、「5長の基本方針」や「教育にかかる基本方針」等、一部の明示媒体で2012年度以前の表現が残っているため、改善されたい。</p> |
| 伸長すべき点（長所） 《箇条書き》                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>「建学の精神」の周知と理解のため、留学生等を対象に英語版、中国語版を編集した取り組みは評価できる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 改善すべき点 《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>「5長の基本方針」等、一部の明示媒体で2012年度以前の表現が残っているため、改善されたい。【努力課題】</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>※【改善勧告】【努力課題】は、改善計画書の提出が必要</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

2016 年度（対象年度：2015） 自己点検・評価シート 【大学全体の視点】

|      |       |
|------|-------|
| 基準 1 | 理念・目的 |
|------|-------|

I. 自己点検・評価

1. 点検・評価項目等に基づく状況確認 《評価形式》

自己評価欄に「A：適切に実行している」「B：概ね実行している」「C：あまり実行していない」「D：実行していない」の4段階で記入してください。

| 項目<br>No. | 評価項目                                                     | 点検項目                                                   | 自己評価 |    |
|-----------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------|----|
|           |                                                          |                                                        | 個別   | 総合 |
| 101       | 【大学全体の視点】<br>教育にかかる基本方針は設定されていますか。                       | 【大学全体の視点】<br>①教育にかかる基本方針は建学の精神が反映されたものになっていますか。        | A    | A  |
|           |                                                          | 【大学全体の視点】<br>②育成する人間像は、明確ですか。                          | A    |    |
| 102       | 【大学全体の視点】<br>教育にかかる基本方針は構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されていますか。 | 【大学全体の視点】<br>③明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。                   | B    | B  |
|           |                                                          | 【大学全体の視点】<br>④構成員(教職員および学生)に対し、周知し十分理解されていますか。【※どのように】 | B    |    |
|           |                                                          | 【大学全体の視点】<br>⑤社会に対し、公表していますか。【※どのように】                  | A    |    |
| 103       | 【大学全体の視点】<br>教育にかかる基本方針の適切性について定期的に検証していますか。             | 【大学全体の視点】<br>⑥教育にかかる基本方針を検証しましたか。【※どのように】              | A    | A  |

2. 現状説明 《記述形式》

対象年度における取り組みを、点検・評価項目の観点から、改善状況を含め総括してわかりやすく説明してください。点検項目欄【※どのように】と記載のある項目は、取り組み内容を具体的に、記述してください。

- ① 「教育にかかる基本方針」を設定し、履修要項等に明示していたが、2015 年度までの「教育にかかる基本方針」は、第 5 次長期計画で策定した時限的な方針であったため、本学の「教育理念・目的」の整理・再構築を図った。  
具体的には、学部長会における 5 長 2 中期アクションプランの実施に関わる審議過程において、各学部の理念・目的及び 3 つの方針の上位概念となる本学の「教育理念・目的」が策定されていない現状を確認し、策定に向けた基本的方向性が 2015 年度第 26 回学部長会（2015 年 12 月 3 日開催）において承認された。このことを踏まえ、2015 年度第 1 回全学教学会議（2016 年 2 月 15 日開催）、第 2 回全学教学会議（2016 年 3 月 24 日開催）において審議した結果、本学の「教育理念・目的」が策定された。
- ② 「龍谷大学の建学の精神」の文中に示されるとおり、『「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成します」と明確に記載している。また、①で記述した本学の「教育理念・目的」にもそのことが明示されている。
- ③ ①で記述したとおり、2015 年度末に新たに「教育理念・目的」が明文化されたので、そのことを 2016 年度の媒体に反映することができなかった。そのため 2016 年度中に原稿の統一化を図る。
- ④ 履修要項及びホームページにより構成員に対し周知を行っているが、理解状況に関する調査・検証はできていない。また、理解度以前に周知状況の測定ができていないことから、段階を経た対応が必要である。
- ⑤ 現状では、教育にかかる基本方針について、大学ホームページ等を通じて広く公表している。さらに、2016 年度からは、新たに策定された「教育理念・目的」についても公表を徹底する。

⑥ 現状では、教育にかかる基本方針について、自己点検・評価制度により検証している。さらに、2016 年度からは、新たに策定された「教育理念・目的」の検証を行う。

〔改善すべき点の確認〕 前回の点検・評価で、自ら「改善すべき点」と掲げた事項や、評価結果で「改善すべき点（【改善勧告】【努力課題】【留意点】）」とされた事項があれば、この欄に箇条書きで記載してください。

- ・「龍谷大学の教育にかかる基本方針」は、第 5 次長期計画で策定した大学の教育にかかる基本方針（2010 年度）をそのまま当てはめているだけであり、厳密に言えば、これまでの建学の精神に関する議論を踏まえ 2012 年度に整備された「龍谷大学の建学の精神」を反映しているとは言い難い。また、「龍谷大学の教育にかかる基本方針」と各学部理念・目的（2008 年度）、3 つの方針（2009 年度）との整合性も確認されているとはいえない。
- ・教育にかかる基本方針の周知状況の把握
- ・「建学の精神」と整合性のとれた基本方針を策定し、関連する各方針との検証を行う必要がある。【努力課題】

### 3. 効果が上がっている点とその伸長方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、効果が上がっている事項（特色ある取り組みや成果創出など）とその伸長方策を記述してください。

- ・2011 年度に構築した自己点検・評価制度により、大学の理念・目的について、定期的に検証を行うことが可能となったことにより、整合性のない表現を改めることが可能となっている。
- ・第 5 次長期計画における時限的な「教育にかかる基本方針」が本学の「教育理念・目的」となっていることを認識した上で、基本方針の位置づけについて本質的な議論を行い、改めて本学の「教育理念・目的」を策定した。

### 4. 改善すべき点とその改善方策 《箇条書き》

現状説明を踏まえ、改善すべき事項とその改善方策を記述してください。

- ・本学の教育理念・目的（2016 年 3 月策定）と各学部の理念目的及び 3 つの方針との整合性を検証する。
- ・新たに策定された「教育理念・目的」の周知状況の把握

### 5. 根拠資料 《リスト形式》

| 項目 No.      | 根拠資料の名称                                   |
|-------------|-------------------------------------------|
| 101・102・103 | 本学ホームページ＜抜粋＞（「教育理念・目的」と「3 つの方針」）（電子データなし） |
| 101         | 2015 年度第 2 回全学教学会議資料＜抜粋＞                  |
|             |                                           |
|             |                                           |
|             |                                           |

## Ⅱ. 評価結果

|                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 総評                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
| 2015年度の自己点検・評価制度において「教育にかかる基本方針」が、時限的な方針であったことが指摘された。それを受け、年度内に所管する会議体の審議を経て、学部の理念・目的および3つの方針の上位概念となる「教育理念・目的」が改めて策定された。年度内における即時の対応は評価できる。<br>2016年度は、策定された「教育理念・目的」について、明示媒体間で記述の齟齬が生じないよう原稿による統一化、構成員に対する周知状況の測定、社会への公表を徹底していただきたい。<br>また、策定された「教育理念・目的」と各学部の理念・目的、3つの方針との整合性を検証いただきたい。 |  |
| 伸長すべき点（長所） 《箇条書き》                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |
| 2015年度の自己点検・評価制度において指摘された「教育にかかる基本方針」について、年度内の会議体における審議、承認を経て、改めて「教育理念・目的」が策定された。年度内における即時の対応は評価できる。                                                                                                                                                                                       |  |
| 改善すべき点 《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
| ・改めて策定された「教育理念・目的」について、明示媒体間で記述の齟齬が生じないよう原稿による統一化、構成員に対する周知状況の測定、社会への公表を徹底していただきたい。【留意点】<br>・策定された「教育理念・目的」と各学部の理念・目的、3つの方針との整合性を検証いただきたい。【努力課題】                                                                                                                                           |  |
| ※【改善勧告】【努力課題】は、改善計画書の提出が必要                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |

---

## Ⅲ. 全学的課題事項

|        |                                                                    |
|--------|--------------------------------------------------------------------|
| 2015年度 | ■評価項目 No.101<br>「建学の精神」と整合性のとれた基本方針を策定し、関連する各方針との検証を行う必要がある。【努力課題】 |
|--------|--------------------------------------------------------------------|